

2025 年 3 月 ブログ集

目次

3 月 1 日	停電でデータベースがクラッシュ.....	2
3 月 2 日	ダイワロングタイツをオーダー.....	3
3 月 3 日	5N9DTG で DXCC challenge 5up.....	4
3 月 4 日	Web で公開されている月刊ファイブナイン.....	4
3 月 5 日	さようなら JRC のリニアアンプたち.....	7
3 月 6 日	九州に行ってきました.....	7
3 月 7 日	WiFi でローテーターを遠隔制御する装置.....	8
3 月 8 日	芽傷処理とメリット処理.....	10
3 月 9 日	素人の土木工事.....	11
3 月 10 日	灌水用サイフォンへの注水.....	11
3 月 11 日	MSP2807 用ベゼルの設計.....	12
3 月 12 日	MSP2807 用ベゼルの製作と取付.....	13
3 月 13 日	6m で中東・インド洋方面が大オープン.....	14
3 月 14 日	モモにカスミンボルドー・裏庭でランチ.....	15
3 月 15 日	3D プリンタでキャンピングカーの室内灯を製作.....	16
3 月 16 日	ローテータをブラウザでコントロール.....	18
3 月 17 日	キャンピングカーに自作室内灯を取付け.....	19
3 月 18 日	南紀白浜への旅.....	19
3 月 19 日	日置川・えびね温泉.....	20
3 月 20 日	串本・潮岬.....	20
3 月 21 日	カーポートを改良して DUCATO を洗車.....	21
3 月 22 日	ピオーネの気根切り.....	22
3 月 23 日	ローテータ I/F 用ケースを 3D プリンタで製作.....	23
3 月 24 日	IC-PW2 のリモート機能を確認するプログラム.....	24
3 月 25 日	ブドウの粗皮剥ぎを開始.....	28
3 月 26 日	ECOFLOW EFDELTA リコール.....	29
3 月 27 日	梅と桜桃が満開.....	30
3 月 28 日	雨上がりはブドウの皮剥きに最適.....	31
3 月 29 日	久々にバンドニューを追加して DXCC Challenge が 2394.....	31
3 月 30 日	リニアアンプ操作パネルのレイアウトを変更.....	32
3 月 31 日	3B9DJ Rodriguez Is. DX-pedition.....	33

3月1日 停電でデータベースがクラッシュ

昨夕 18 時前に VK9XU が 6m に出ていたので、コールしていたところ突然停電しました。我が家のブレーカーがトリップしたのではなくて、地域全体が停電したようです。外に出ると街灯が消えていたので間違いありません。暫くすると、街灯が点いたので無線小屋の中をみると蛍光灯が点灯していて、復旧したことが分かりました。

この停電が原因で、ログなどを管理しているデータベースサーバーがクラッシュしていました。具体的には、直近のログデータや 2024 年度の簿記データが消失してしまいました。ログデータは 2024 年 11 月のものが最新という状態でした。データベースとして MySQL を使用しており、ハードウェアはラズパイ 3B です。このシステムを 2015 年頃から運用していますが、昨年 8 月には雷が原因と思われる事故でハードウェア（ラズパイボードと電源の両方）が故障しました。この時には、マイクロ SD カードを差し替えるだけで復旧しました。データベースは、毎日午前 3 時に USB コネクタに挿したマイクロ SD カードにバックアップされるように設定しているので、今回もデータは残っていました。

ログデータの最新が 2024 年 11 月ということに関して、データベースの内容がディスクにフラッシュされていないということが考えられます。データベースサーバーは起動したらそのままずっと運転し続けているのでデータはメモリ上に保持されているままなのではないでしょうか？ 偶には、データベースを再起動するかサーバー全体を再起動するかした方が良いのかもしれません。何しろ、バックアップされている sql ファイル（テキストファイル）のサイズを見ると 1MB 位しかないのですから、フラッシュされていなくても不思議ではありません。

バックアップを元に、朝から復元作業をして、やっと先程回復しました。滅多にこういう作業をしないので、いちいち彼方此方の web を見て回って調べるというありさまで少し苦痛でした。

停電なんて滅多にないのですが、先日埼玉県で起きた道路の陥没事件のように、電力インフラの老朽化が原因で停電が頻発するようになるかもしれません。杞憂かもしれませんが、これを機に無停電電源装置の方式について考えてみました。サーバーと言ってもラズパイなので、電圧は 5V で消費電力は 10W 位のものでから簡単なもので間に合います。

1) バッテリーと AC/DC コンバータの両方から突き合わせて同時に電力供給する。常時 AC/DC コンバータから電力供給するので、バッテリーには適時充電する。この方式は雷サージには弱いという欠点があります。

2) AC は全く使わずに、ソーラーパネル--->チャージコントローラ--->バッテリー--->DC/DC コンバータという 100% オフグリッドでサーバーに電力供給する。この方式は、余程のことがない限り雷にも強いと思われますが、構成要素が多いので、信頼性の面で不安があります。

3月2日 ダイワロングタイツをオーダー

鮎釣りのシーズンはまだまだ先ですが、鮎釣りのための竿やウェアなどのグッズは、今が買い時です。というか、シーズンに入ってからでは品切れ続出なので、早めに手配しておかなければ手遅れになります。

過去5年位は、鮎釣用タイツの代わりにモンベルの「パドリングジョン」というカヌー用のタイツを愛用していました。オーバーオールタイプになっているので、肩から吊り上げる方式のため、急流で立ちこんでもお腹のあたりが水流でぶわぶわならず済むので大変気に入っています。先月開催されたフィッシングショーには行きませんでした。ネットで見ると今年のニューモデルを探っていると、ダイワから「ロングタイツ」と称して、「パドリングジョン」と同じようにオーバーオールタイプになった鮎釣用タイツが新製品として販売されていることを知りましたので、早速オーダーしました。

まだ予約注文の段階なので、現物は未だ来ていませんが楽しみです。パドリングジョンに比べると定価は倍以上します。パドリングジョンを使っていて不満なのは、足首の部分にチャックがなくて脱ぎにくい点です。その点、鮎釣用タイツを長年提供しているダイワの製品なので安心です。

ロングタイツが
新たにラインナップ！
タイツのずり落ちから解放！

4月発売予定 NEW

2.5mm厚
クロロプレン

ダイワロングタイツ DT-5000W25

■価格：¥39,700

伸縮性が高く保温性を追求した2.5mm厚クロロプレン／肩への負担を軽減するラジカルフィットストレッチャーを背中に採用／衝撃や痛みを軽減する衝撃吸収材と圧縮クロロプレンパッドを採用／着座姿勢でもシューズ・タビの脱ぎ履きがし易い足首内側サイドファスナー仕様／タイツの足首には、勝手にファスナーが開かないように、ベルクロを完備／小用時に便利なダブルロングファスナー／カラー：ブラック



ラジカルフィットバック
ストレッチャー



内側サイドファスナー

SIZE	ブラック
MA	3 500565
LA	3 500572
LLA	3 500589
3LA	3 500596
MB	3 500602



3月3日 5N9DTGでDXCC challenge Sup

昨日 PSKreporter で 5N9DTG をチェックすると、影も形もないので、Rebel DX group を Facebook を見ると QRT したとのこと。やはり 160m での QSO はできませんでした。長期間放置していてもコンファームできるとは思えないので、Clublog で OQRS 申請しました。

今朝、LoTW をチェックすると、24 時間も経たないのにコンファームされていました。3Z9DX Dom さんや Rebel DX group のことを悪く言う人も居るようですが、私は好きです。ちゃんと DXCC に有効な運用をしてくれるし、OQRS にも迅速に対応してくれるし、信頼に足りうるチームだと思うのです。

これにて、DXCC challenge が 5 つ増えて 2392 になりました。この春の DX シーズン終了までに 2400 になれば良いなあ・・・と思っていた目標は果たして達成できるでしょうか？！

									Next
	Call sign	Worked	Date/Time	Band	Mode	Freq	QSL		DXCC
Details	JH4ADK	UA0LQE	2025-02-26 21:28:00	30M	FT8	10.13900	ASIATIC RUSSIA		
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-26 00:24:00	17M	FT4	18.10700	NIGERIA	✓	17M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-25 23:34:00	12M	FT4	24.92200	NIGERIA	✓	12M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-25 21:38:00	10M	FT4	28.18300	NIGERIA	✓	10M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-22 21:51:00	80M	FT8	3.57100	NIGERIA	✓	80M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-20 05:40:00	17M	FT8	18.10300	NIGERIA	□	17M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-19 08:02:00	30M	FT8	10.13900	NIGERIA		
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-19 06:53:00	17M	FT8	18.10300	NIGERIA	□	17M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-19 04:36:00	10M	FT8	28.07700	NIGERIA	□	10M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-19 03:49:00	12M	FT8	24.91800	NIGERIA	□	12M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-18 23:22:00	40M	FT8	7.05900	NIGERIA		
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-18 05:56:00	15M	FT8	21.07500	NIGERIA	✓	15M; Challenge
Details	JH4ADK	5N9DTG	2025-02-17 22:48:00	20M	FT8	14.09100	NIGERIA		

3月4日 Webで公開されている月刊ファイブナイン

ネットサーフィンをしていて、ひよんなことから、[月刊ファイブナインがWebで公開](#)されていることを知りました。DX に熱中していた 1990 年代に情報収集のために購読していました。その頃は、今と違ってネットで情報を得るようなことが無かったので、紙媒体のネタが必要でした。

そういえば、この雑誌に「[JRL-2000F 周波数トラッキングシステムの製作](#)」という記事を投稿して掲載されていたことを思い出したので、探してみたところ発見しました。月刊ファイブナイン 2000 年 11 月号です。懐かしさが込み上げてきたので、この装置の製作に関する記憶を辿ってみました。

1991年4月～5月にFS(Saint Martin)にDXペディションに行った際に、同時期にFSに来ていたJRCのグループが持ってきていたJRL-2000Fを見て、帰国後すぐに注文した。

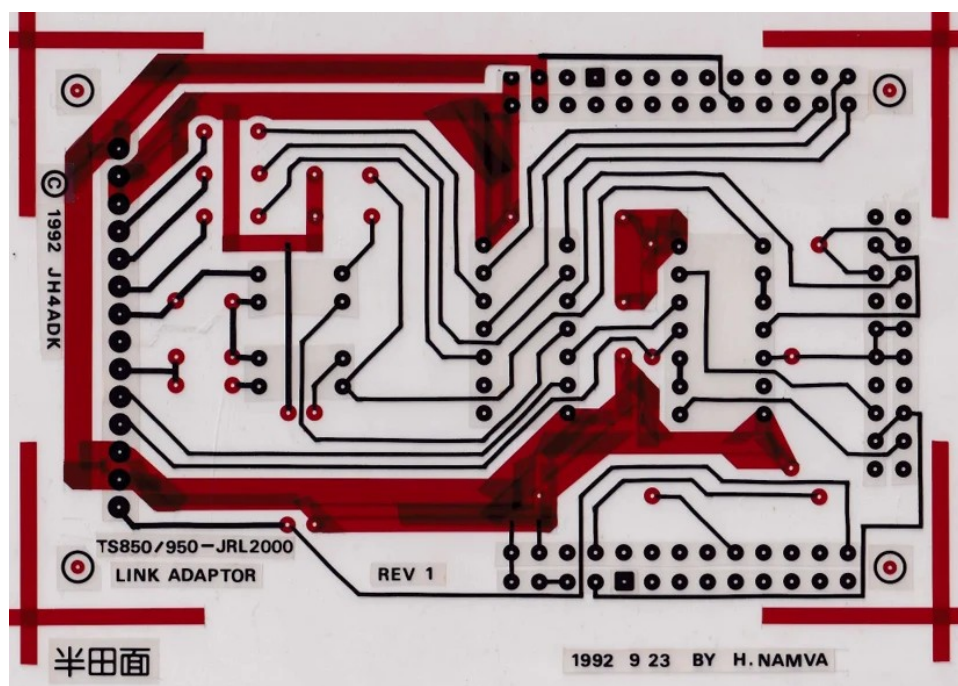
1992年4月にJRCからJRL-2000FとJST-135との接続プロトコルに関するメモを入手した。当時私は、JST-135も所有していた。

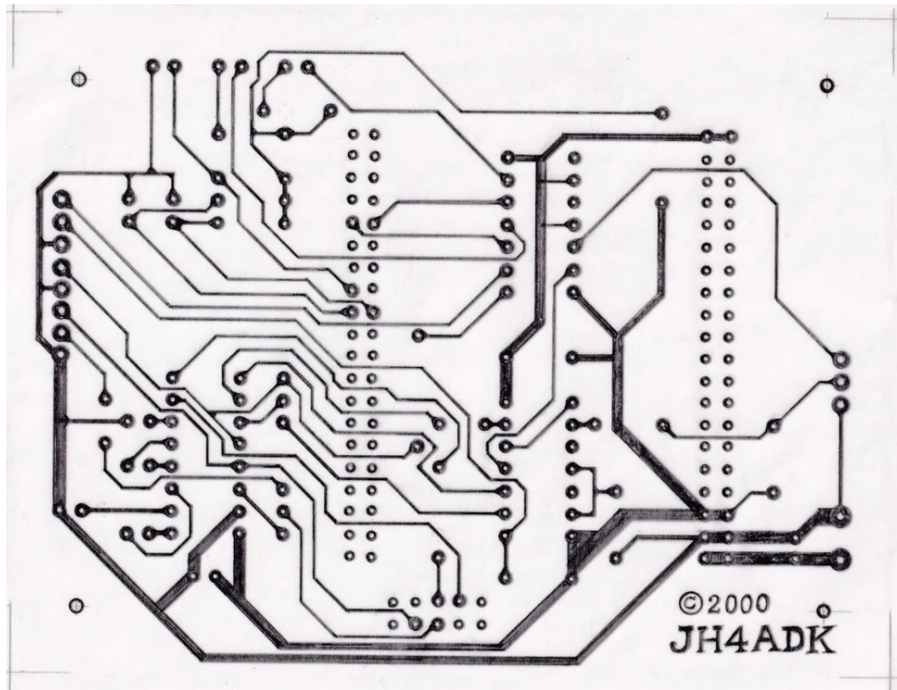
1992年9月にTS-850とJRL-2000Fとを接続して使用するために"LINK ADAPTER"と称して自分用に製作した。

1999年12月にTS-850に代えてメインリグとしてIC-756Proを購入し、これとJRL-2000Fとを連動させるよう改良した。当時、FT991も所有していたので、頒布するつもりで、Kenwood, Icom, YAESUのいずれでも動作するように改良して、2000年11月に月刊ファイブナインに製作記事を掲載してもらった。

2001年にはJRL-3000Fが発売されて、直ぐに乗り換えた。トラッキングシステムは、そのまま使用することができた。

1992年に製作した装置には、秋月電子のAKI-80(CPUは東芝のZ80)を使用して、プログラムはM80(アセンブラー)で書きました。当時作成したアートワークも残っていました。1992年に製作したものは、ちゃんとフィルムにテープを貼ってアートワークしています。2000年に製作したものはデルミナ用紙に鉛筆書きです。2000年に製作した装置は、秋月電子のAE-3048(CPUは日立のH8)を使用して、プログラムはC言語で書きました。





3月5日 さようなら JRC のリニアアンプたち

1 ヶ月程前に IC-PW2 が配送されて来ましたが、ずっと箱に入ったままにしていました。IC-PW2 は小さくはなっていますが、私の無線小屋に置くようなルーム（スペース）はありません。現用中の JRL-3000F を片付けて、そこに設置するのが順当です。

現在、総合通信局に申請中ですが、IC-PW2 を設置する場所を空けるために、JRL-3000F を撤去しました。倉庫に収納していても使う当てがないので、処分することにしました。処分ついでに、長年保管していた JRL-2000F も引き取ってもらうことにしました。

昨日のブログにも書いたように、1991 年に JRL-2000F を購入して以来、ずっと JRC のリニアアンプにお世話になってきました。有難う、そして、さようなら。



3月6日 九州に行ってきました

昨日の午前 3 時頃起床して、高速道を西に走って福岡県飯塚市に行ってきました。北九州市は通過しただけですが、学生時代を過ごした街なので懐かしい思い出が蘇ってきました。行きも帰りも関門大橋を渡りました。帰りにメカリ PA で休憩して昼食をとりました。



3月7日 WiFiでローターを遠隔制御する装置

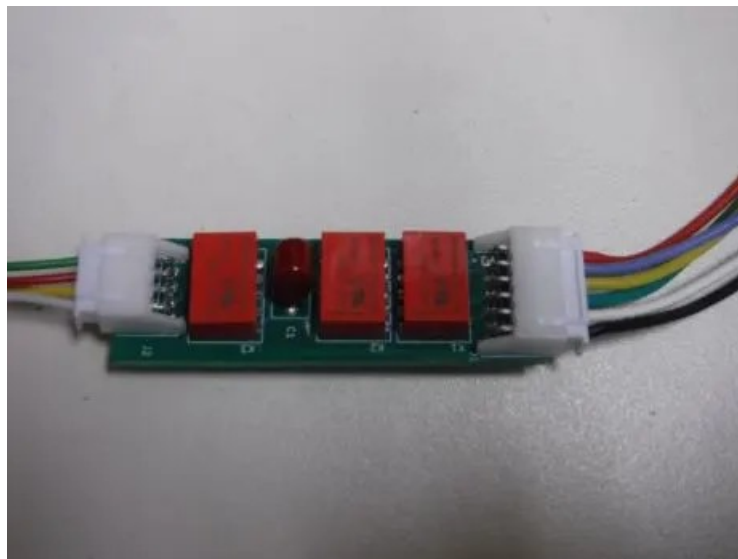
ラズパイ pico 用多目的ボードを使って、ローターを遠隔操作する装置を製作しています。現在、プログラムのデバック中です。





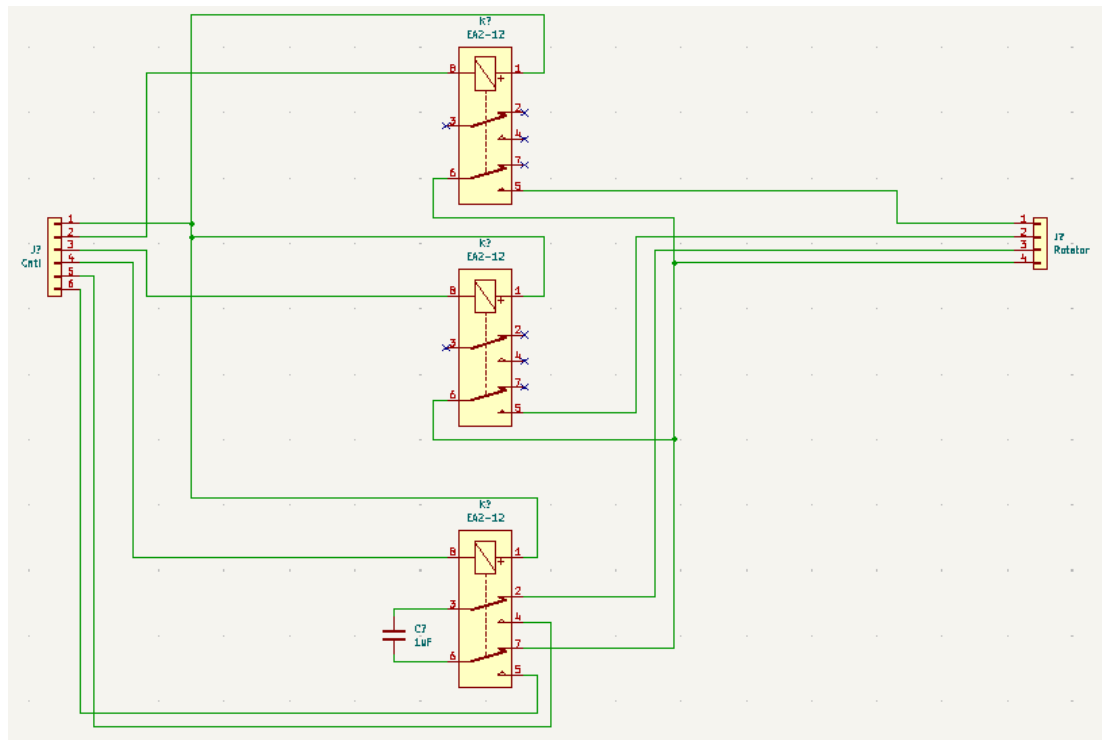
この装置のハイライトは、ラズパイ picoW を使うことで WiFi で遠隔制御できる点にあります。特別なアプリを使用せず、Chrome や Edge などのブラウザで操作できるようにする予定です。WiFi で接続することで、パソコンとのアイソレーションができるので、回り込みに対しても強い筈です。

もう一つの特徴は、方位を示す電圧をラズパイ pico に入力する回路にフライングキャパシター方式を採用している点です。YAESU のローテーターとのインタフェース基板を拡大した写真と回路図を示します。



3つのキャラメルのような部品が NEC 製の 2C 接点を持つリレーで、中央左よりの茶色の部品がフィルムコンデンサ(1uF)です。リレーの内、2つはローテーターを回転させるための CW, CCW 用接点として機能し、フライングキャパシターを操作するのはリレー 1 個だけです。

この基板は、ラズパイ pico 用多目的ボードと一緒に JCLPCB に発注して製作したものです。専用の基板にまとめたのでコンパクトに収まりました。



3月8日 芽傷処理とメリット処理

昨日は雪がちらつくような日だったので、野良仕事はパスしました。今日もそれほど良い天気ではありませんでしたが、久しぶりに野良仕事をしました。

ブドウの若木には、この時期に芽傷処理をすることになっています。これをやっておかないと、若木なのに芽が出ない節ができてしまう可能性があるのです、大事な作業です。金切鋸で芽の下流側に傷を付けました。

この作業の後で、芽が出やすくなるように、青メリットという液肥の2倍液を刷毛で芽に塗布しました。いずれも、若木の新梢の芽に限って行う処理です。



3月9日 素人の土木工事

一昨年の12月にキャンピングカーの駐車場を作るために山を切り、その残土を畑に盛り土して、車の出入りがし易くなるようにしました。畑側に盛り土した部分は土羽と呼ばれる工法をパワーショベルで処理してもらいました。

しかし、その法面に芝などが十分に生えていないため、雨や霜で法面の土が徐々に崩れています。法面全体が崩壊することは無いにしても、土が崩れ落ちた畑の耕作面積が少なくなったりして少なからず問題が出ています。

その対策のために業者に発注することも考えましたが、素人にでもできることはあるんじゃないかと思って、素人なりの土木工事をしました。駐車場の屋根を作った時に、長さ1m位の単管パイプの切れ端がかなりできたので、これを杭にして、山から檜の丸太を切り出して、土留めの堤防のようなものを作りました。強度計算の仕方も知らない素人なので、いい加減なやり方だと自覚しています。もしも、壊れたら、その時にはプロに任せようと思います。



3月10日 灌水用サイフォンへの注水

毎年この時期になると、灌水用のサイフォンに注水します。作業の準備のために、水中ポンプとポタ電の試運転をしようと、家の水栓柱の傍に置いているバケツに水中ポンプを入れようとしたところ、薄氷が張っていました。いくらなんでも、もう凍結の恐れはないだろうと思って、注水作業は予定通り決行しました。

今年は1月に殆ど雨が降らなかったもので、池の水が枯れているんじゃないかと心配していましたが、2月の雪と3月になってから雨が降ったので、十分な水がありました。池の樋から水が漏れていますが、以前に比べると漏れる量が少なくなったような気がします。水漏れするルートが詰ったのでしょうか？理由はどうあれ、漏れない方が良いでしょう。

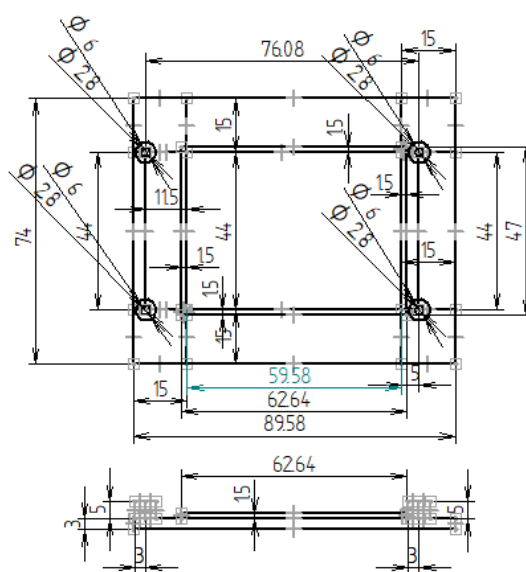
それにしてもサイフォンというのは便利です。動力なしでバルブを回せばスプリンクラーから水が出るのですから・・・年に一度水抜きと注水という手間が掛かりますが、文句は言えません。



3月11日 MSP2807 用ベゼルの設計

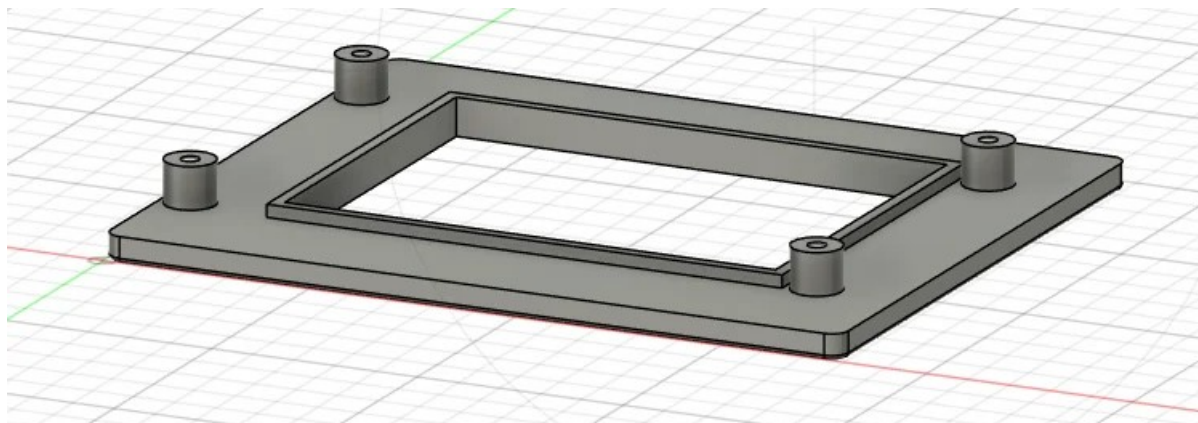
秋月電子で購入したタッチパネル付きの 320x240 TFT パネル(MSP2807)をケースに取り付けるためのベゼル（額縁）を 3D プリンタで製作しようと思っています。3D モデリングのための CAD は Fusion360 を使うつもりですが、その前に寸法関係をちゃんと把握するために、Solid Edge 2021 を使って図面化しました。簡単なモデルなら、ポンチ絵で済みますのですが、複雑なので 2 次元 CAD を使いました。

正面図と立面図だけで寸法関係は把握できるので、側面図は省略しました。



3月12日 MSP2807 用ベゼルの製作と取付

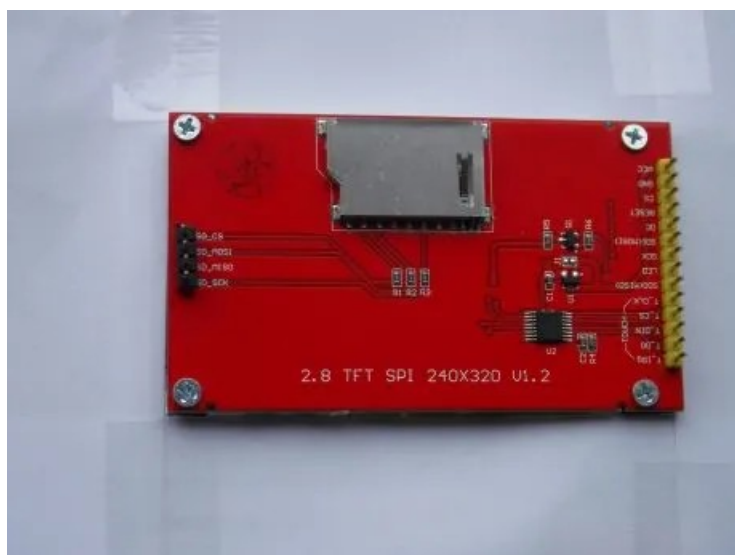
昨日のブログで紹介した MSP2807 用ベゼルの設計図を元に、Fusion360 を使って 3 次元モデルを作成しました。当初、表面から六角ネジなどを使ってベゼルと MSP2807 を固定しようと考えましたが、穴の位置が非対称なので、カッコ悪くなりそうなので、その案は没にしました。額縁の幅をもう少し狭くしたいところですが、MSP2807 側 PCB の取付穴の位置が一方は画角からかなり離れた場所にあるので、これ以上狭くするのは無理です。



Fusion360 で STL ファイルに出力して、Creality Print を使ってスライスし、Creality K1 でプリントしました。

実際に取り付けた時の感触を得るために、薄手の段ボール板にカッターナイフで穴を明けて取り付けてみました。なかなか良い感じです。





3月13日 6mで中東・インド洋方面が大オープン

最近では電子工作やプログラミングに時間を費やしていて、DXハンティングの手を休めています。3月11日に過去10日間のログをLoTWにアップロードしようと思いましたが、QSO数はゼロでした。

昨日は、朝から6mの南米方面がスポットされていましたが、食指が動かず傍観していました。夕食後にDXscapeを見ると、6mで中東方面が開いているようだったので、無線小屋に行って少し遊んでみました。僅かな時間に9K, 4X, SV9, FR, 3B8, VK3などとQSOできました。QSOできませんでした。5B4やH44も入感していましたが。3B8FAとは2023年3月1日以来の2ndQSOでした。その他はinitQSOです。

Date	Callsign	Freq	Mod	his	my	hisNe
2025/03/12 11:15	VK3GK	50315	FT8	-16	-04	QF21
2025/03/12 10:52	3B8FA	50315	FT8	-06	+01	LG89
2025/03/12 10:36	FR4OO	50315	FT8	-11	-01	LG79
2025/03/12 10:28	SV9GPV	50316	FT8	-15	-16	KM25
2025/03/12 10:23	4Z5MU	50316	FT8	-19	-08	
2025/03/12 10:22	4X1YS	50316	FT8	-12	-16	KM71
2025/03/12 10:20	9K2GR	50316	FT8	-12	-12	

サイクル25のピークで、かつ、春のDXシーズンらしい6mの大オープンでした。この時間にD68Zが6mにQRVしてくれたらQSOできたのに・・・と思いましたが、残念ながら、昨夕彼女は他のバンドに出ていても6mにはQRVして来ませんでした。

中東の局を呼ぶ時のアンテナの方位角は230度で、スカッターによる伝播です。FRや3B8を呼ぶ時には260度に、VK3, H44を呼ぶ時には180度にしました。

3月14日 モモにカスミンボルドー・裏庭でランチ

今日は春らしい良い天気の日でした。朝一番にモモの防除作業をしました。縮葉病対策としてカスミンボルドー 500 倍液を 10 リットル調整して散布しました。少量の薬液なので、家庭用の AC100V で動作する噴霧器を使いました。電源はポタ電から供給しました。ポタ電は、こんな時とても便利です。以前は、掛かりにくいエンジンの発電機を使っていて苦労していました。



その後、梅やキウイフルーツの剪定枝を焼いて片付けました。

天気が良かったので、裏庭で鉄板焼きで一杯やりながらランチにしました。近頃はどうか、ステーキ用備中牛 200g1 枚ものが 1800 円と以前よりも安くなっているような気がします。消費者としては有難いのですが、生産者には申し訳ないような・・・でも、味は以前と変わらず、美味しい！

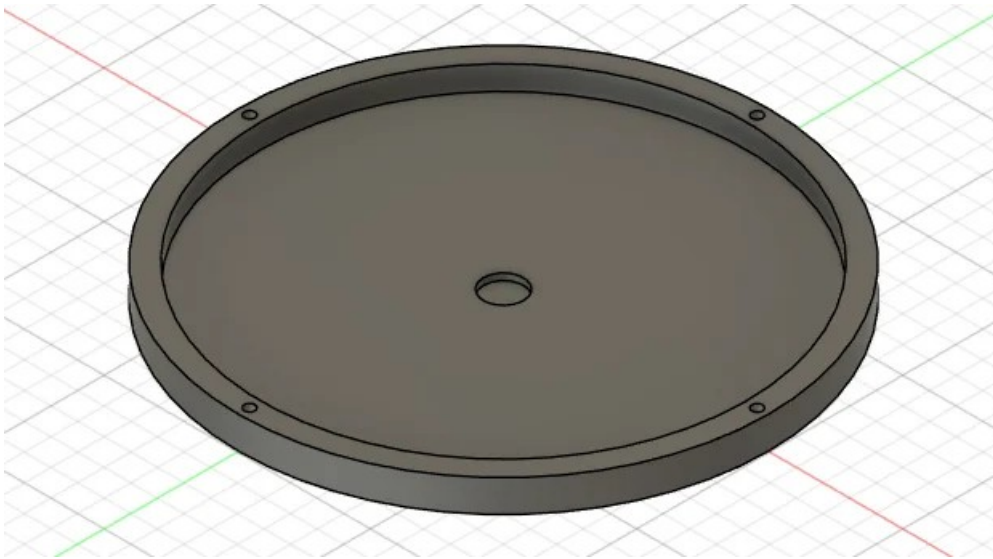


3月15日 3Dプリンタでキャンピングカーの室内灯を製作

DUCATO をベースにしたキャンピングカーを自作しましたが、室内灯はLED むき出しの色気のないものを仮に取り付けています。以前から3Dプリンタで自作しようと思っていましたが、やっと重い腰を上げて製作しました。

現在取り付けているLEDだと大きすぎて、手持ちの3Dプリンタでは製作できないので、小型のLED（43x29mmに5050サイズのチップが24個）を購入しました。Amazonで6枚入り1999円でした。

キャンピングカーの天井に取り付けるものなので、器具の高さを16mmと極力薄く設計しました。形は丸型で、直径206mmとしました。照明器具の構造は至極簡単なので、設計には殆ど手間はかかりませんでした。ベースとトップの2ピース構造です。



材料は、透過率の高いPETG（透明）が良かったと思って、このためにフィラメントを購入しました。PETGを使うのは初めてなので、苦労しました。プレートに定着せず、ぐちゃぐちゃになってしまいました。当初はベースもPETGで作ろうと思ってやり始めたのですが、諦めて、PLA（白）でベースもトップも作りました。やはりPLAは使い易い材料だと再認識しました。

PLAで製作した器具の内部にLEDを貼り付けて点灯してみると、照明器具として透過率が低くて、今一つでした。ベースはPLAでも良いので、トップだけでもPETGにしたいと思って、色々試行錯誤（条件出し）したところ、なんとか形になりました。次のような工夫をしました。

1)3Dプリンターのプレートをアセトンで綺麗に拭いて脱脂した

2)プリント速度を遅くした

print speed 100mm/s, travel speed 300mm/s

initial layer print speed 40mm/s, initial layer travel speed 200mm/s

3) 温度を高くした

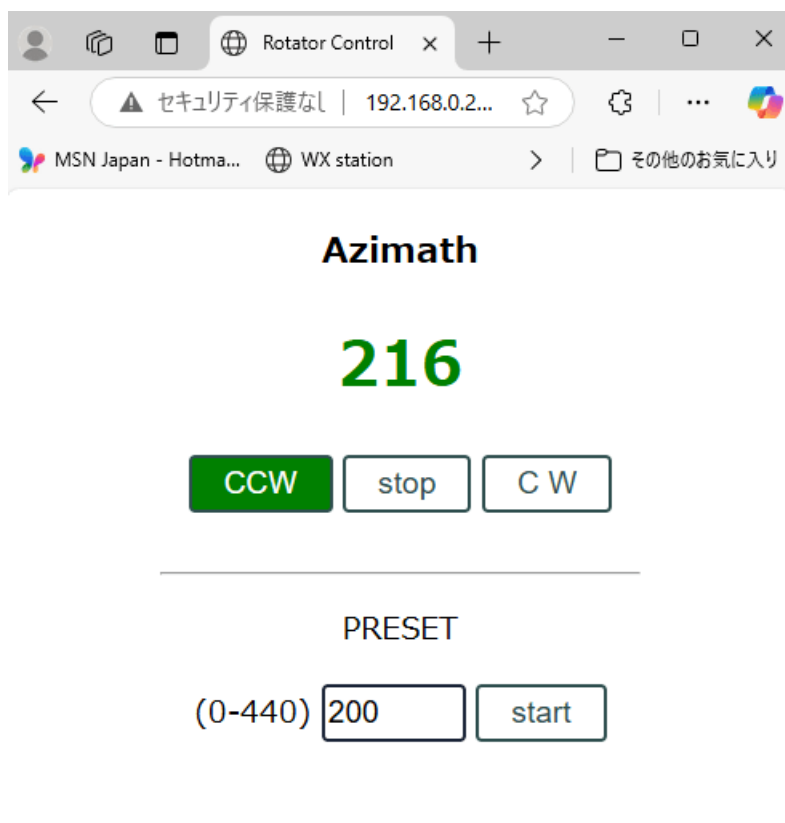
build plate temperature 80℃, build plate temperature initial layer 90℃

仮に蓋をして点灯した写真を以下に示します。イメージ通り良い感じのキャンピングカー車内用リーリングライトができました。12V加えた時の消費電流は0.6Aでしたので、7.2Wです。（LED基板4枚）



3月16日 ローテータをブラウザでコントロール

[3月7日のブログで紹介している「WiFiでローテータを遠隔操作する装置」](#)のソフトウェアを開発しています。ステップバイステップでデバックや動作確認をしながら進めてきましたが、今日ようやくブラウザで制御できるようになりました。Microsoft Edgeで表示した時のスナップショットを示します。



見ての通りのGUIなので、使い方はご想像の通りです。YAESUのコントローラ本体では、プリセット動作中に停止することができませんが、プリセット動作中でもstopボタンを押せば停止するようにしました。

フライングキャパシータは、ローテータが回転中のみスイッチングするように工夫しています。暫く、これで運用してノイズの影響で誤動作しないかなど確認して行きたいと思っています。

3月17日 キャンピングカーに自作室内灯を取付け

先日から製作していた自作の照明器具（極薄型シーリングライト）をキャンピングカーの天井に取り付けました。



これまでLEDむき出しの状態だったので、直視すると眩しかったのですが、これなら大丈夫そうです。良い雰囲気の内装になりました。

3月18日 南紀白浜への旅

朝8時半に家を出て一路、南紀白浜に向けて旅立ちました。今日は良い天気で、山陽道、阪神高速湾岸線、阪和道を経て南紀白浜に到着したのは3時前でした。距離にして400km弱、九頭竜川よりも少し近い位です。



鮎釣りの師匠みっちゃんに逢いに草見漁港にやってきました。みっちゃんに逢うのは昨年の9月以来です。着いてイキナリ、白浜温泉の崎の湯に連れて行ってもらいました。海のすぐ傍の露天風呂で、日本最古の湯らしいのです。丁度太陽が正面に見える時刻だったこともあり、素晴らしい！ブラボーの一言でした。

その後、三段壁に観光してチョットしたアドベンチャーを愉oshimしました。

3月19日 日置川・えびね温泉

雨こそ降っていないものの強風が吹き荒れる一日でした。釣りは止めにして、少し離れた日置川のえびね温泉に行きました。硫黄臭のする温泉らしい温泉でした。浴室からは日置川を一望でき、入浴しながら眺望を楽しめ癒し効果抜群です。



3月20日 串本・潮岬

今日は穏やかな良い天気でした。折角、南紀白浜まで来たので、もう少し足を延ばして串本迄行きました。以前、伊勢・熊野方面から国道42号線を通ったことがあるので、串本を通過したことはありますが、今日は観光を楽しみました。目的地の一つは、本州最南端の地である「潮岬」です。台風情報などで、この地名は何度となく聞いた覚えがありますが、訪れたのは今日が初めてです。潮岬灯台の中にも入ってみました。石の螺旋階段というのに歴史を感じました。



その後、隣の大島の東端にあるトルコ記念館を訪れて、草見漁港に帰って来たのは午後2時半頃でした。今日は天気が良かったので、時間が遅くなれば、高速道路が渋滞する心配があったので、取り敢えず南紀白浜 IC から高速道路に乗って、紀の川 PA まで車を進めて、休憩しています。

この先、どういうルートで選ぼうかと調査しているところです。阪神高速湾岸線・山陽道にしようか、近畿道・中国道にしようか・・・中国道の宝塚・西宮周辺は現在渋滞中で、阪神高速湾岸線は正常、3号が京橋から湊川のあたりで若干渋滞しているようです。山陽道は、山陽 IC と岡山 IC の間の下り線で事故・火災という情報がありますが、山陽 IC で降りるという選択肢もあります。

やっぱり、往路と同じ道順にしようかなあ・・・

3月21日 カーポートを改良して DUCATO を洗車

先日、南紀白浜を訪れた時には強風のため、しぶきが車に掛かったような感じなので、早急に洗車したいと思いました。しかし、DUCATO は車高が 2.3m 位あるので、屋根の上まで洗車するとなると工夫が必要です。

昨年末にカーポートを建てた時に、DUCATO の屋根の上 10cm 位のところに単管パイプを渡して、その上に板を掛けてやれば、屋根の上まで手が届くだろうと思っていました。それはアイディアのまま温存していましたが、実現するのは今でしょ！と思い着いて、ホームセンターに単管パイプを買いに行きました。

結局、午前中は洗車用のガントリーを製作するために費やしてしまい、午後から本格的に洗車をしました。洗車用の仕掛けが完成したので、少しは洗車の頻度が上がるかもしれません。



3月22日 ピオーネの気根切り

昨日は遊び帰りでぼぉ～としていたので、洗車だけで一日を費やしてしまいましたが、暖かくなってきたことだし、今日から農作業に勤しむことにします。

まずは、ピオーネの気根切りです。気根というのは、枝から出ている髭のようなものです。髭がぐちゃぐちゃになって、虫の住処になっては困るので、さっぱり切除します。シャインマスカットなどに気根があってもピオーネ程多くないのでそれほど気になりません。

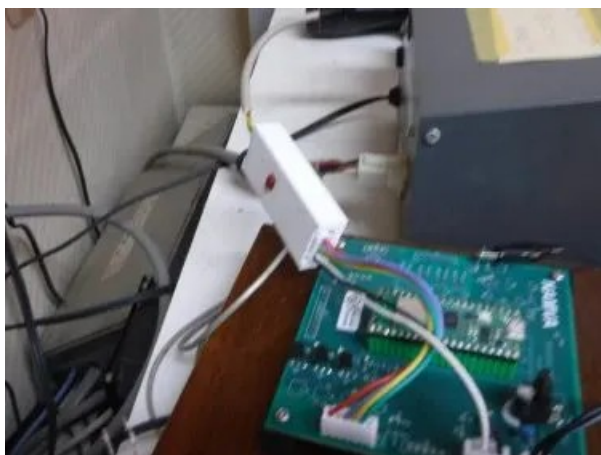
気根切りは、粗皮剥ぎをするためにも必要な作業です。気根切りが終わったら、粗皮剥ぎの作業が待っています。



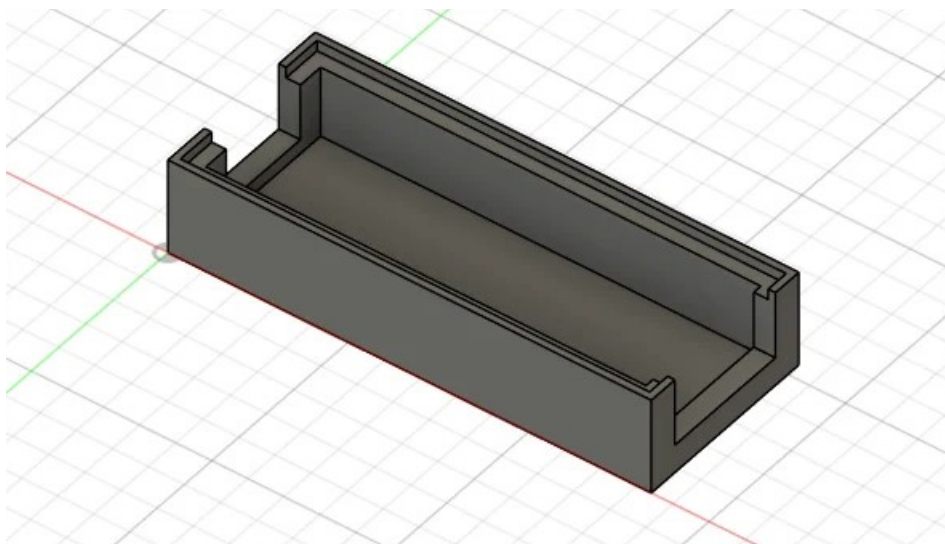
3月23日 ローター I/F 用ケースを 3D プリンタで製作

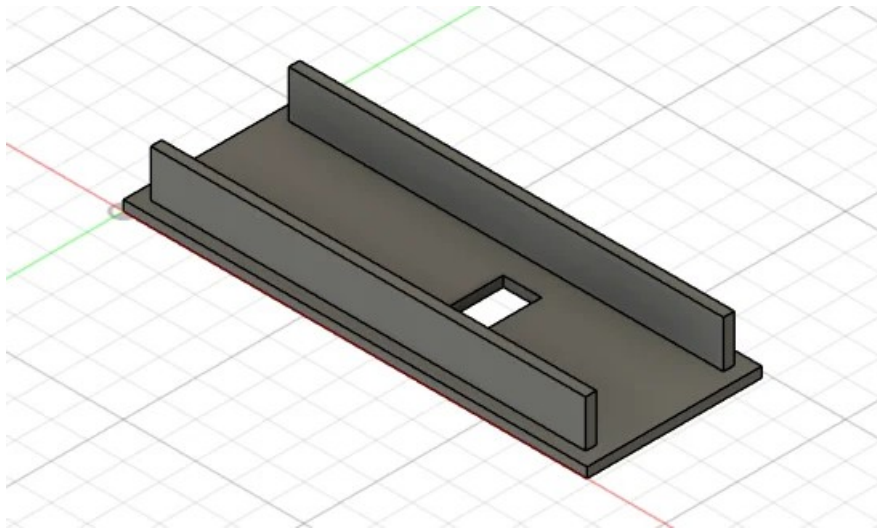
[3月7日のブログ](#)で紹介しているローテータとのインタフェース用の基板を収容するケースを 3D プリンタで製作しました。

YAESU のローテータの背面には、外部から制御するためのミニ DIN コネクタがあるので、そこから I/F 基板に接続するのですが、自分の電波によってローテータが誤動作するような回り込みを受けたくないので、この配線を極力短くします。（長さは約 20cm）そのために。インタフェース基板だけをケースに収めて、ローテータの近くに配置します。インタフェース基板をケースに入れた写真を以下に示します。



3 D プリンタは Creality K1 を使用し、材料は白の PLA を使いました。Fusion360 でモデリングしたイメージを以下に示します。2 ピース構造になっていて、ケース本体と蓋で構成されます。キャパシタの背が高くて邪魔だったので、蓋に穴を明けました。





3月24日 IC-PW2のリモート機能を確認するプログラム

IC-PW2を遠隔制御したいと思って、色々調べています。IC-PW2にはLANコネクタ(RJ-45)がありますが、遠隔制御には使えないようで、NTPサーバーと接続して時計の時刻合わせのためだけのようです。

REMOTE-AUXコネクタ(3.5φモノラルジャック)を通してCI-Vプロトコルで遠隔操作ができるようなので、ラズパイ pico 多目的ボードを使って実験しています。最終的には、ラズパイ picoW を使って WiFi でパソコンから遠隔制御するようにしたいのですが、そのためにも、IC-PW2のCI-Vでのコマンド・レスポンスについて知見が必要です。ICOMのホームページからIC-PW2の補足説明書をダウンロードしましたが、これを読んだだけでは今一つ理解できませんでしたので、試して合点するっきゃないなと思ったのです。

色んなコマンドが容易されているので、汎用のコマンドインタープリタを製作しました。cmd xx yy zz と入力すれば、IC-PW2に対してコマンドxx、サブコマンドyy、データzzを送信するものです。受信したデータは、16進数で表示されます。

トランシーバ側の周波数ダイヤルを回すと、コマンドを送らなくても周波数データがIC-PW2側から送られてきます。IC-PW2のIDはaaで、ラズパイ pico のIDはeeとしました。

cmd 18 01 で、IC-PW2の電源をONにします。

cmd 1a 00 で、どちらのINPUTが選択されているのか知ることができます。

cmd 1a 06 00 で、INPUT1とアンテナの関係がわかります。

以下にシリアルモニタの画面を示します。

```

fe fe 00 aa 00 60 40 07 28 00 fd | Freq: 28074060Hz
fe fe 00 aa 00 50 40 07 28 00 fd | Freq: 28074050Hz
fe fe 00 aa 00 40 40 07 28 00 fd | Freq: 28074040Hz
fe fe 00 aa 00 30 40 07 28 00 fd | Freq: 28074030Hz
fe fe 00 aa 00 20 40 07 28 00 fd | Freq: 28074020Hz
fe fe 00 aa 00 10 40 07 28 00 fd | Freq: 28074010Hz
fe fe 00 aa 00 00 40 07 28 00 fd | Freq: 28074000Hz
cmd 18 01
fe fe aa ee 18 01 fd
fe fe ee aa fb fd | OK
cmd 1a 00
fe fe aa ee 1a 00 fd
fe fe ee aa 1a 00 00 fd
cmd 1a 06 00
fe fe aa ee 1a 06 00 fd
fe fe ee aa 1a 06 00 00 fd

```

以下にソースプログラム（全部）を示します。

```

// filename: ICPW2.ino
// description: ICPW2 remote controller by RP2040W
// 2025.03.17 ver 0.1 1st issue by H.NAMVA
#define MAXBUFLen 30

```

```

char cmdBuf[MAXBUFLen];
char rspBuf[MAXBUFLen];

```

```

void setup() {
  Serial1.setTX(0);
  Serial1.setRX(1);

```

```

  Serial.begin(115200);
  Serial1.begin(9600);

```

```

  // while (!Serial); // for debug
  Serial.println("program has started");

```

```

}

```

```

void cmdSend(char param[], int nParam){
  char cmd[20];
  cmd[0] = 0xfe;

```

```

cmd[1] = 0xfe;
cmd[2] = 0xaa;
cmd[3] = 0xee;
int i;
for(i=0; i
cmd[4+i] = param[i];
}
cmd[4+nParam] = 0xfd;
for(i=0; i<=(4+nParam); i++){
Serial1.write(cmd[i]);
}
}

```

```

char char2hex(char highN, char lowN){
// convert 2 byte hexadecimal ASCII chars into 1 byte bin
// Serial.printf("char2hex high:%02x low:%02x\n", highN, lowN);
char bin;
if((highN >= 'a') && (highN <= 'f')){
bin = (highN-'a' + 10) <
}else if((highN > 'A') && (highN <= 'F')){
bin = (highN-'A' + 10) <
}else if((highN >= '0') && (highN <= '9')){
bin = (highN-'0') <
}else{
bin = 0;
}
if((lowN >= 'a') && (lowN <= 'f')){
bin |= (lowN-'a' + 10);
}else if((lowN >= 'A') && (lowN <= 'F')){
bin |= (lowN-'A' + 10);
}else if((lowN >= '0') && (lowN <= '9')){
bin |= (lowN-'0');
}
return bin;
}

```

```

void analyzeCmd(int bufLen){
int i;
char param[10];
cmdBuf[bufLen] = 0x00;
String strCmd = String(cmdBuf);
Serial.println(strCmd);
if(strCmd.startsWith("cmd ")){
if((bufLen %3) == 0){
int nParam = (bufLen /3) -1;

```

```

for(i=1; i<=nParam; i++){
param[i-1] = char2hex(cmdBuf[i*3 +1], cmdBuf[i*3 +2]);
}
cmdSend(param, nParam);
}
}
}

```

```

void analyzeRsp(int bufLen){
int i;
for(i=0; i
Serial.printf("%02x ", rspBuf[i]);
}
switch(rspBuf[4]){
case 0x00: // frequency data
case 0x03:
if(bufLen == 11){
Serial.printf("| Freq: %02x%02x%02x%02xHz", rspBuf[8], rspBuf[7], rspBuf[6], rspBuf[5]);
}
break;
case 0xfa: // NG
Serial.printf("| NG");
break;
case 0xfb: // OK
Serial.printf("| OK");
break;
default:
break;
}
Serial.println("");
}

```

```

void loop() {
char c;
static int idxCmd;
static int idxRsp;

```

```

if(Serial.available()){
c = Serial.read();
if(c == '\n'){
analyzeCmd(idxCmd);
idxCmd = 0;

```

```
}else if(c >= 0x20){  
cmdBuf[idxCmd++] = c;  
if(idxCmd >= MAXBUFLLEN){  
idxCmd = 0;  
}  
}// ignore control char  
}
```

```
if(Serial1.available()){  
c = Serial1.read();  
rspBuf[idxRsp++] = c;  
if(idxRsp >= MAXBUFLLEN){  
idxRsp = 0;  
}  
if(c == 0xfd){  
analyzeRsp(idxRsp);  
idxRsp = 0;  
}  
}  
}
```

3月25日 ブドウの粗皮剥ぎを開始

今年の3月は例年になく天候不良だったので、今頃になって粗皮剥ぎを開始しました。昨日位から水揚げを始めたようで、剪定した痕から所々で雫がでています。水揚げも例年よりも少し遅いような気がします。



3月26日 ECOFLOW EFDELTA リコール

今年1月にAmazonからメールで連絡があり、ECOFLOWのEFDELTAがリコールになっていることを知りました。そのメールには、[経済産業省のリコール情報のアドレス](#)が記載されていたのでリコールの状況については理解できました。しかし、メーカーのホームページにはリコールの実施方法などについて明記されておらず、その後情報が更新されるのをずっと待っていたところ、3月になって漸くリコールの受付が開始されました。

早速メーカーのホームページで手続きしましたが、返事が来るまで暫くかかりました。当初は代品が先に配送されて、その後で返品するという手順が示されていましたが、先に品物を送るようにとのメールを受け取ったので、その指示に従い3月14日に発送しました。

今日になって漸く代替品であるDELTA2が到着しました。

こういう電子機器でリコールというのは初めての経験なので、どうなることかと心配でしたが、これで安心です。EFDELTAを購入したのは2021年3月なので、丁度4年前です。4年も使って、その間に火災もなく、それが新品に生まれ変わったのですから文句は言えません。

予備機としてALL POWERSのものも所有していますが、ECOFLOWの方が、充電時間が短い割には蓄電量が多いので機能的に優れていると感じています。今回のリコールの件もまあまあスムーズに進んだので、今度ポタ電や家庭用蓄電池を買うとしたら迷わずECOFLOWにします。



3月27日 梅と桜桃が満開

今日は曇りの一日でした。暖かくて春らしいのは良かったのですが、霞んでいたのは黄砂のせいでしょう。

家の周りの色々な花が咲き始めています。特に梅と桜桃（サクランボ）の花が満開です。他に、水仙やヒヤシンス、すみれ等も咲き始めています。



3月28日 雨上がりはブドウの皮剥きに最適

昨夜の雨は結構な雨量だったようです。一雨毎に春らしくなっています。雨上がりはブドウの皮剥きに最適なので、朝食のあと直ぐにブドウ園に行って、ブドウの皮剥き作業をしました。今日は枝ではなく、幹の皮を剥くことにしました。普段は動力噴霧器で水を掛けては湿らせて剥きやすするという余分な手間をかけていましたが、今日は雨上がりなので手間要らずです。ホースを引き回す必要もないので、彼方此方のブドウの幹の皮を剥いてまわりました。



3月29日 久々にバンドニューを追加して DXCC Challenge が 2394

最近は春らしい天気になったので、野良仕事が忙しくて DX ハンティングは一休みです。3月12日に6mで中東・インド洋方面が開けた時に QSO したログを LoTW にアップロードしたところ、FR400 がバンドニューとしてコンファームされていました。FR400 の QRZ.com を見ると LoTW は No となっていたので、全く期待していなかったのが意外でした。

Call sign	Worked	Date/Time	Band	Mode	Freq	QSL		DXCC
JH4ADK	VK3GK	2025-03-12 11:15:00	6M	FT8	50.31500	AUSTRALIA		
JH4ADK	SV9GPV	2025-03-12 10:28:00	6M	FT8	50.31600	CRETE		
JH4ADK	FR400	2025-03-12 10:36:00	6M	FT8	50.31500	REUNION ISLAND	✓	6M; Challenge
JH4ADK	CE2SV	2025-03-16 01:40:00	6M	FT8	50.31500	CHILE		
JH4ADK	9K2GR	2025-03-12 10:20:00	6M	FT8	50.31600	KUWAIT		
JH4ADK	3B8FA	2025-03-12 10:52:00	6M	FT8	50.31500	MAURITIUS ISLAND		

これにて、DXCC challenge は 2394 となり、2400 まであと 6 つです。そうなれば、2500 が射程圏内になります。昨年 3 月から 91 プラスできた実績を踏まえ、今後の 1 年で 100 プラスできれば最高ですが、半分の 50 プラスでも上出来だと思います。サイクル 25 のピークを過ぎても、少しずつバンドニューを加えて行けば、いつか 2500 が達成できるんじゃないかと密かに目論んでいます。

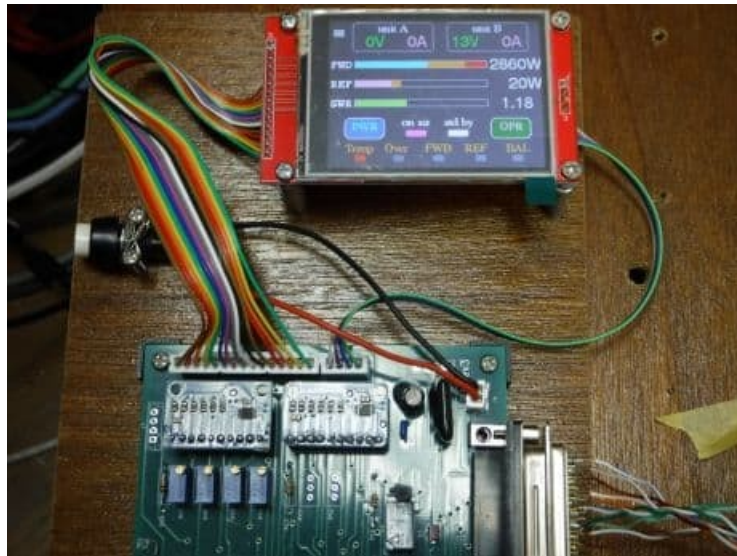
Your Logbook DXCC Account (JH4ADK - JAPAN)					
Account Status					
DXCC Award	New LoTW QSLs	LoTW QSLs in Process	DXCC Credits Awarded	Total (All)	Total (Current)
Mixed *	1	0	334	335	325
CW *	2	0	310	312	310
Phone *	7	0	262	269	261
Digital *	5	0	302	307	307
160M *	6	0	125	131	131
80M *	7	0	194	201	201
40M *	6	0	277	283	282
30M *	6	0	276	282	282
20M *	4	0	293	297	292
17M *	10	0	274	284	284
15M *	11	0	283	294	291
12M *	16	0	242	258	258
10M *	17	0	248	265	263
6M *	8	0	102	110	110
2M	1	0	22	23	23
70CM	0	0	1	1	1
Challenge *	91	0	2303	---	2394

3 月 30 日 リニアアンプ操作パネルのレイアウトを変更

今日は、小雪が舞うような寒い日だったので、農作業はちょこっとだけにして、プログラミングをして過ごしました。リニアアンプ操作パネルのレイアウトを変更しました。

元々のプログラムでは、パネルに表示する文字（ラベル）や数値、ボタンやランプなどのオブジェクトの座標は、数値を表示関数の引数として記述していて、プログラムの広い範囲に分布していました。レイアウト修正をし易くするために、オブジェクトの座標をヘッダーファイルにまとめました。

一つのプログラムだったものから色んな派生品種が出来て、今では 3 つのプログラムになっています。それらに同じような修正を加えるのは単純でつまらない仕事ですが、辛抱してやっつけました。早いもので、このプロジェクトを開始してから 6 か月以上経ちます。いい加減に切りを付けないと、飽きて忘れてしまいます。



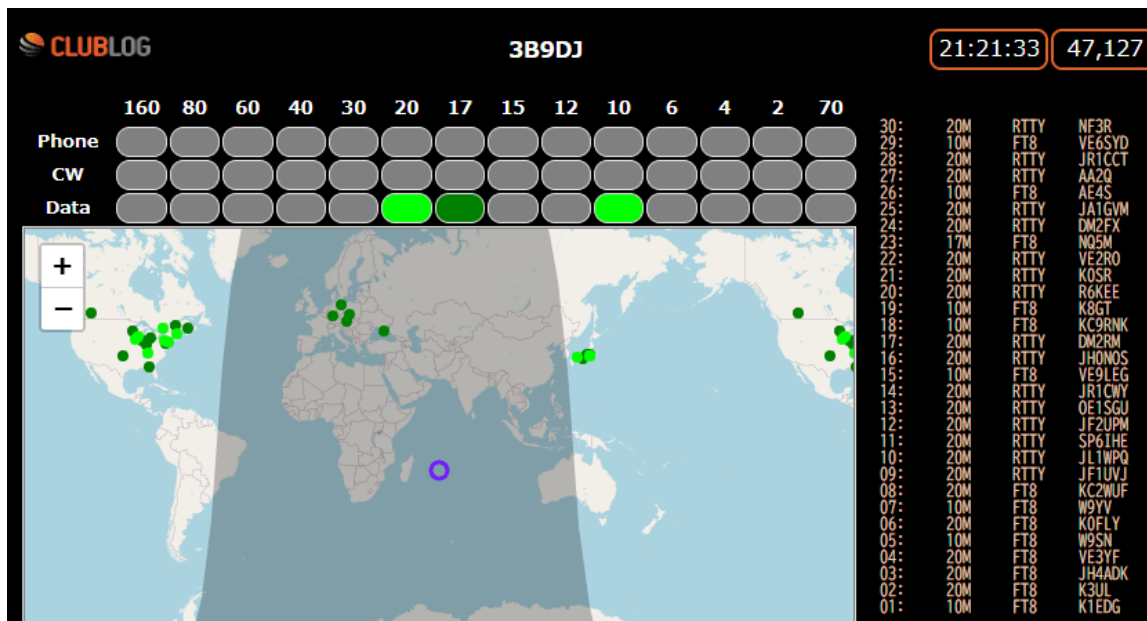
3月31日 3B9DJ Rodriguez Is. DX-pedition

チェコのチームがインド洋のロドリゲス島にDXペディションに行っているようです。サイクル25のピーク時なので、ハイバンドの伝播が良いためか18MHz以上のハイバンドでの運用が続いていました。

DXCC challenge マトリックスを見ると、50MHz帯を含め18MHz帯以上のバンドでは常駐局の3B9FRとのQSOでコンファーム済みです。空いているのは、7MHz以下のローバンドと14MHz帯です。

今朝、5時半頃目覚めた時にPSKreporterをチェックすると、14MHz RTTYにQRVしているとの情報を得たので、無線小屋に行ってワッチを開始しました。近頃はRTTYに出ることは殆どなく、FT8に慣れるとミスデコードに苛立ちさえ感じてしまいます。おまけにスプリット運用なので、どうやって送信すれば良いのか暫く考えていました。その内に、FT8にQSYするとデコードできたので、モードと周波数を変えてワッチしていると見つけることができ、コールすると一発でコールバックがありました。首尾よくニューワンをゲットです。

その後もワッチを続けていると、3.5MHz CWに出てきました。コールしましたが、EU勢をピックアップしていてコールバックはありませんでした。時間も7時頃になっていたんで、諦めて食事にしました。



今朝は寒いので、野良仕事に行く前にもう一度無線小屋に行ってワッチすると、今度は7MHz FT8に出ているとの情報を得たので、アンテナを回してコールすると、直ぐに応答がありました。これで、2つ目のバンドニューをゲットできました。D68Zを呼んでいる局も居ましたが、私にはデコードできませんでした。

DXペディションも後半戦になり、ローバンドを運用するようになったので、早起きして160m・80mでもQSOしたいものです。

